

令和5年度 学校評価報告書 (自己評価書・学校関係者評価書)

令和6年1月30日作成

中期目標	重点努力目標 (評価項目)	自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方策 次年度への課題 (★学校関係者評価を受けて)
育む 互いを認め合い、温かな人間関係と豊かな心を	一人一人を大切に 学級・学校づくり	A	A	・集団の仲間意識が高まってきた。 ・個への特性を把握し、適切な支援を心掛けたことで相手を大切にすると温かい雰囲気が生まれた。 ・タイムリーな目標等の掲示等視覚的な支援により、学級全体の前向きな行動が増えた。	A	・幼少期に心の教育は必要で、引き続き心を耕す教育の継続をお願いしたい。 ・子どもが相談できる環境づくりを継続して行っていきたい。	・相手の立場や思いに心を傾けて行動できるよう声掛けを継続していく。 ・保護者との密な連携を継続していく。 ・お話タイムで、個々の考えや思いを共有する場を増やす。
	互いを認め合う心の育成	B					
勢を育む わかる楽しさ・できる喜びを感じ、自ら学び続ける姿	基礎基本の習得	A	B	・目標を意識して授業に取り組む姿が見られた。 ・教材研究と個別の支援で、子どもの学習意欲喚起につながった。 ・基礎学力コンクールへの取り組みにおいて、いつもより、家庭学習に意欲的に取り組む姿が見られた。 ・職員の相互参観研究授業を通して、板書計画を綿密に構想して授業に生かすことができた。 ・話し合い活動のリテラシーは十分定着してきていて、比較的長い発表も昨年度よりできる子が増えてきた。	A	・自主学習は、将来に役立つことを増やしていってほしい。 ・できたらほめたり成長を促らす声掛けをした り知ることを継続してほしい。 ・子供の家庭での学習を親も見る努力をしていきたい。	・振り返りの時間で、次への学びに向かう力を育てたい。 ・一部の子どもの基礎習得の遅れが大きいので、みのに学習等で個別支援を工夫したい。 ・総合的な学習での課題設定では、苦手な子どものためにグループワークを取り入れた授業を進めていく。 ・ひとり調べにおいて、教師がきちんと視点を明確に伝えていくようにする。 ・家庭学習の内容を再検討するとともに、保護者の子への支援状況を把握して、不足している家庭には連携していく。
	「わかる楽しさ」「できる喜び」を感じる授業	B					
	学びに向かう力を育てる	B					
える 生涯を通じてたくましく生きるための心と体を鍛	生活習慣の確立	B	B	・メディアコントロールのできていない子の保護者に、個別の電話や懇談会の折に保護者に協力を要請したことで、若干の変化が見られた。 ・マラソンカードは、努力の足跡が見える化されており、目標やめどが立ち、子どもの意欲向上につながった。	A	・各家庭でのルール作りが必要である。 ・安全について発表したりみんなで考えたりする機会を増やしていきたい。	・運動への苦手意識のある子どもへの支援の時間を確保していく。 ・保護者への注意喚起を学年通信等を用いて発信していく回数やタイムリーかつ頻繁に行っていく。 ・子どもの学校と家でのメディアに対する意識を教師と保護者がともに把握し、通信や懇談会で共有していく。
	体力の向上	B					
	安全教育の推進	A					
域と連携した教育を推進する 信頼される教職員集団をめざし、家庭・地域との連携	教職員としての誇りと自覚	A	A	・各行事の役割分担を明確にし、仕事量も比較的均等にすることで、一部の職員だけ時間外労働を迫られる状況を防ぐことにつながった。 ・出前授業等で校区の方をゲストティーチャーを招いた際に、みのにネットへの協力依頼をし、サポーターの整備ができてきた。 ・図書ボランティアを今年も開設し、少数精鋭で行ったが、活動も、回を重ねるごとに板についてきて、どの保護者も意欲的になってきた。	A	・教職員の負担が少なくなるとよい。 ・教職員研修等で、イレギュラーな事案への対応を増やしていただけるとよい。 ・子ども園と小学校の連携を進めたい。	・学年通信で、子供の声を取り上げ、より学校での子どもの活動の様子を具体的に発信していく。 ・時間の設定はあるため、あとは個人の業務の精選や効率化を工夫していきたい。 ・保護者の学校教育活動や職員への思いやりの気持ちの表れとして、資源回収の教職員ボランティアは縮小(管理職のみ参加)してはどうかという意見が多く出た。
	家庭・地域との連携	B					

【自己評価 A : 十分に達成されている B : 概ね達成されている C : あまり達成されていない D : ほとんど達成されていない】

【総合評価 自己評価をもとに 上記のA・B・C・D で評価】

【関係者評価 A : 適切である B : 概ね適切である C : あまり適切ではない D : 適切とは言えない】